

行事報告

兵庫頸髄損傷者連絡会 第8回支部総会報告

宮野 秀樹

兵庫頸髄損傷者連絡会の支部総会も今年で数えること8回目となりました。毎回天気の話から始めるのですが、今年は桜が咲いたのも早く、総会開催の4月15日(日)はもう初夏を思わせる暑さに見舞われました。どれだけ晴れ男・晴れ女たちの集まりなんだ!と思わせるほどの好天に恵まれた中、西宮市立若竹生活文化会館・第6会議室で兵庫頸髄損傷者連絡会の第8回支部総会を開催したので報告します。

今年は体調不良や別の用事が入ったという会員が多かったので、参加者が少なくなることが予想されていたのですが、そのような中で遙々広島から女性会員の0さんが参加してくれました。いつもオッサン…もとい男性ばかりでむさ苦しいのが定番の兵庫支部総会に、紅一点、明るさが舞い込んだおかげで大変和やかな中で議事を進めることができました。もうひとつ嬉しかったのは、

いつも介助用車椅子で参加されていた若手のホープ、当機関誌の校正を担当してくれている橋祐貴さんが電動車椅子で参加してくれたことでした。介助用車椅子が悪いわけではありませんが、移動の自立はあらゆる自立につながると考えていますので、彼が勇気を出して長距離を電動車椅子で移動してくれたことが単純に嬉しかったのです。彼も若き兵庫頸損メンバーとしてこれから活躍してくれると期待しています。

昨年度から役員体制を強化して若きメンバーを加えて会活動を活性化したことが、このように芽が出てくる結果を生み出したのだと思います。

このような理由から、昨年度の事業報告や今年度の事業計画はとても気持ちよく報告でき、また可能性を熱く語り合えました。総会後のお茶会がとても会話が弾んだのが、総会が有意義なものであったことを物語っていると感じました。

